

## 『点から線へ』のお話

私が大学を卒業して初めての職場は舞台照明でした。上下関係と厳格なエンターテイメントの世界を支える裏方としての、業界の厳しさを経験しました。そのあと、地元室蘭に戻り結婚式場の仕事に転身し、アルバイトから社員へと登用していただき、ブライダルの営業とサービスを経験しました。その後、ある方に声をかけられ、室蘭焼き鳥で有名な『鳥辰』に転職し、そこで若鶏の半身のからあげを担当しました。その後、結婚式場の営業をしている時に、老人ホームでのお仕事をいただいたことが切っ掛けで、お知り合いとなりました大久保理事長のお誘いで、特養の寮父として勤めることとなりました。そして、かなり端折（はしよ）りますが、特養、デイサービス、グループホームと経験したのち、その時は正直怖かったですが、独立（大久保理事長は「暖簾わけ」と表現します）し、今の私へと繋がる訳です。

私たちの仕事は“何をしたか”は大切なことですが、それにもまして“いかにしたか”が問われています。つまり、成果（アウトカム）を目標にするのではなくて、むしろ過程（プロセス）が大切だと思うのです。

私がこれまで経験してきた仕事は、その時々を『点』としか意識していませんでした。今になって思うと全てが繋がっているということをお認めざるおえないのです。その時は、未来に繋がると予測なしに生きていましたから、多分その時々を適当に生きてきた事もあったと思うのです。でも、この年になって感じていることは、これまでにしてきたことが必ずどこかに繋がるということです。

私が皆さんにお伝えしたいことは、ただ一つです。

今やっている事が必ずどこかに繋がると信じて下さい。時に人は、他の人のしている事と比べて自分自身の心の中で優劣をつけようとします。素晴らしいと信じる仕事に取り組む事です。やっている仕事を愛する事です。もし今がそうでなければ、探し続けることです。見つければそれとわかるものです。そしてそれは年を重ねるごとによくなっていきます。自分を信じて下さい。自分を信じてその時々を懸命に生きてみることをおすすめします。その過程は必ず未来に繋がっています。信じて下さい。

最後になまらかっこ良く終わりたいと思います。

夢を実現する前の私の名刺の裏には『I will get my ドリームズカムトゥルー』

現在の私の名刺の裏にはこう書かれています。『ドリームズカムトゥルー』

『人間万事塞翁が馬』です。

ご清聴感謝申し上げます。ありがとうございました。

ア ウ ル 宮 崎 直 人